

(再公告) 2022年-2026年度 国際緊急援助隊用携行資機材等の保管及び輸送等業務 (成田倉庫)

(公告/公示日: 2022年10月19日/公告番号: 22a00686) について、以下のとおり回答いたします。

独立行政法人国際協力機構
調達・派遣業務部次長(契約担当)

通番	該当頁	項目	質問	回答
1	P. 16	第2.4.I.(2).① データ管理	構築中の資機材管理新システムの導入時期及びその運用時に必要なネットワーク機器他の費用負担は今回の入札金額に含めなくてよろしいですか。	検討中のシステムについては、未だ開発中であることから、これに関連する費用等は含める必要はありません。なお、新システムは現状の業務の改善をはかるために導入を予定しているもので、既存設備の活用を考慮しており、費用負担を受注者に求めることは想定していません。
2	P. 20	第2.4.II.(7).① 国際輸送①	”最終仕向け地までの適宜の国際輸送”について ① 最終仕向け地は輸送先国の国際空港(税関空港)との理解でよろしいですか。 ② 発災時には経由地を含め、商業便の運航状況、スペース状況が平時とは異なってくるのが予想されます。”適宜の国際輸送”とは弊社がその時点での手段で可能な範囲での輸送を理解でよろしいでしょうか。求められる具体的な対応範囲がありましたらご教示ください。	①ご理解のとおりです。 ②発注者から依頼を行った時点において、輸送の迅速性(到着の速さ)、輸送の効率性(トランジットや搭載する機体の少なさ)、輸送の経済性(安さ)等を考慮した最適な輸送計画の策定が求められます。実際の輸送にあたっては、JICAは受注者から最善と思われるいくつかの輸送計画の提案を受け、受注者と緊密に連携して輸送計画を決定し、手続きを進めることとなります。
3	P. 22	第2.5.(1).② 施設面積	保管基本スペース1400㎡はラックからの取り出し等荷役作業のスペースを含んだものですか、又は貨物保管のみのスペースですか。	取り出し等作業に必要なスペースも含んでいます。
4	P. 22	第2.5.(1).③ 施設面積	P23同(7)作業空間と同じスペースですか。	同じです。
5	P. 22	第2.5.(1).③ 施設面積	作業スペースを確保する為、予定される年間実施頻度をご教示ください。	想定される回数としては、各チームの作業回数を平均すると、各月1回~2回(2日前後/回)ほどが目安となります。
6	P. 23	第2.5.(6).⑧ 保管棚等	「冷蔵庫(ログ機能付き)」について要求される(容量、温度帯等)仕様条件をご教示ください。	薬剤保管のためのログ付き冷蔵庫(保冷库)については、容量は175L以上、温度帯については2℃~8℃を条件とします。
7	P. 23	第2.5.(6).⑧ 保管棚等	停電に備えたバックアップについて、医薬品冷蔵庫のみのバックアップでよろしいですか。また、時間等必要な条件をご教示ください。	厳密な温度管理を要する「ログ付き冷蔵庫(保冷库)」を1週間はバックアップできる電源、また、停電時であっても特別業務に対応できる電源及び装置等を具備する必要があります(例:停電時に、医療チームが夜間に出動となった場合でも、機材出庫、輸送計画、各種帳票作成などの業務を遂行できる体制など)。
8	P20	第2.4.II.(7).⑥ 国際輸送①	”国際的ネットワークを有し”とありますが、海外に支店、代理店等を持っていることが必須となるでしょうか。フォワーダーとして、航空会社を通じて積み替え状況等の確認を行うことで条件を満たしますか。	海外に支店や代理店等を持っていることは必須条件にはなりませんが、国際輸送が発生した際に経由地や現地の状況を踏まえた的確な輸送計画を作成する能力、並びに、海外にて積み替えトラブルなどのイレギュラー事項等が発生した際に、迅速かつ的確に対応できる能力などが求められます。
9	P31	第4.1.(5) 地上輸送料	昨今の燃油、人件費の上昇傾向から、地上輸送料については長期での固定料金の設定が困難な状況です。輸送料の高騰により、契約額との乖離が生じた場合、期間中の見直し、あるいはサーチャージ等の追加設定による調整は可能でしょうか。	公式統計や証明可能な価格の変動などを踏まえ、契約の内容が現実と乖離していると認められる場合には、見直しを検討します。そうした事後の対応のため、受注者は入札時における地上輸送料の内訳(トラック代、運転手人件費、燃料費、サーチャージ等)に分け、それぞれ単価がわかるよう記載)を、入札後の契約前に提出願います。